

2011年3月期 第1四半期決算説明会



ZeeM

株式会社クレオ
2011年8月3日



決算概要

2011年3月期第1四半期 決算概要



(百万円)	2010/3期 第1四半期	2011/3期 第1四半期	増減額 前年比
売上	1,893	1,816	△4.1%
営業利益	△285	△309	—
経常利益	△281	△303	—
当期純利益	△286	△362	—

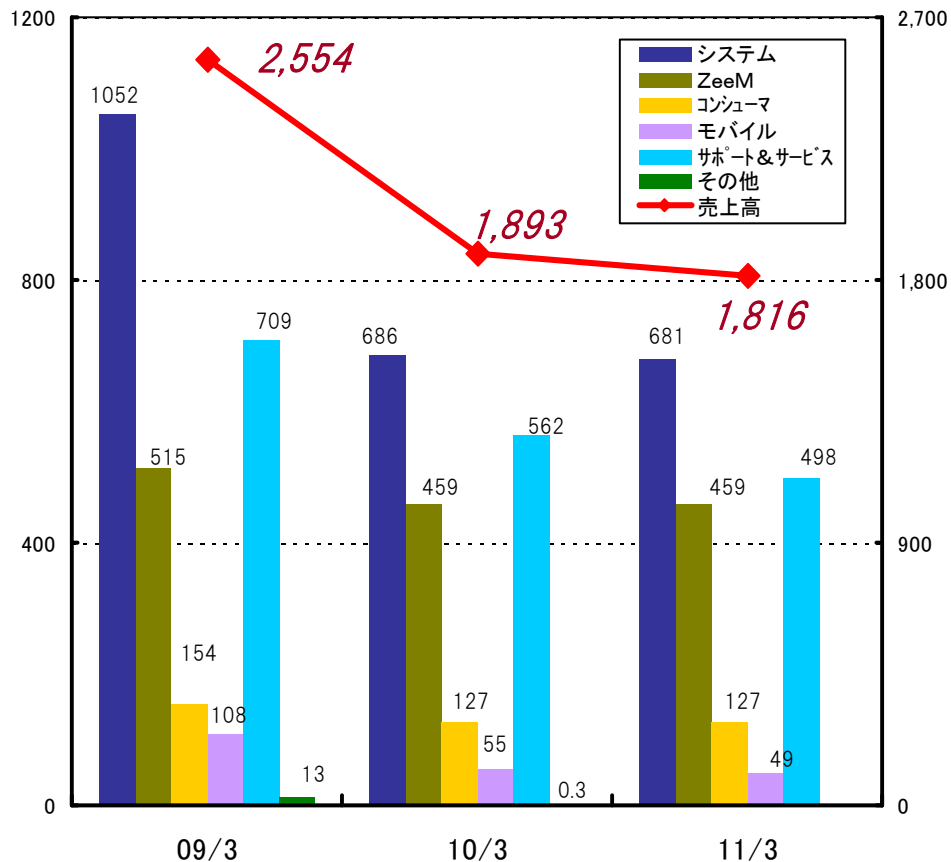
連結業績

- 売上については、計画値を上回るものの受注不足により前年比減少
- 営業利益、経常利益については、不採算プロジェクトの発生により損失増加
- 当期純利益については、特別損失(資産除去債務費用)の発生によるもの

2011年3月期第1四半期 決算の概要(売上)

売上高:セグメント別

(百万円)

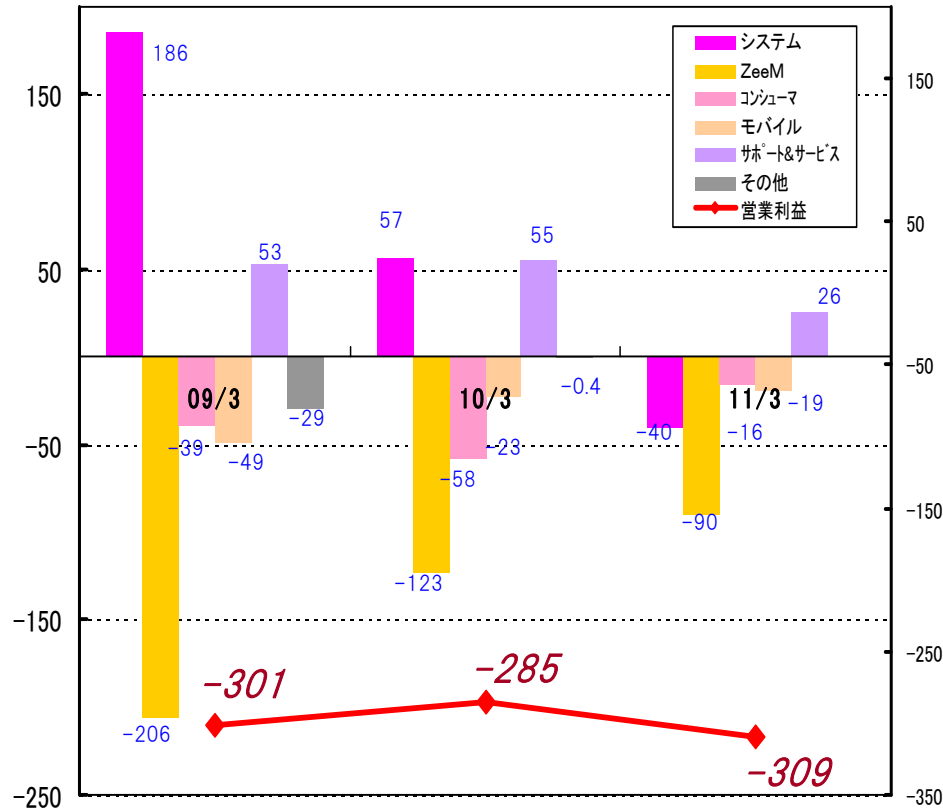


	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
09/3	2,554	3,631	2,947	2,986
10/3	1,893	2,701	2,359	2,564
11/3	1,816	—	—	—

	2010/3期 第1四半期	2011/3期 第1四半期	増減額	増減率
システム	686	681	△4	△0.7%
ZeeM	456	459	2	0.5%
コンシューマ	127	127	△0	△0.4%
モバイル	55	49	△6	△11.9%
サポート& サービス	562	498	△63	△11.4%
連結合計	1,893	1,816	△76	△4.1%

2011年3月期第1四半期 決算の概要(営業利益)

営業利益:セグメント別 (百万円)



	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
09/3	-301	258	10	-73
10/3	-285	242	-35	140
11/3	-309	—	—	—

	2010/3期 第1四半期	2011/3期 第1四半期	増減額	増減率
システム	57	△40	△98	△169.8 %
ZeeM	△123	△90	33	—
コンシューマ	△58	△16	42	—
モバイル	△23	△19	4	—
サポート&サービス	55	26	△28	△52.1%
連結合計	△285	△309	△24	—

2011年3月期第1四半期 損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2010/6末			2009/6末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
売上高	1,816	100.0%	△77	1,893	100.0%
営業費用	2,126		△52	2,178	
営業利益 (△は営業損失)	△309	-17.0%	△24	△285	-15.1%
営業外損益	6		2	4	
経常利益 (△は経常損失)	△303	-16.7%	△22	△281	-14.8%
特別利益	1		△3	4	
特別損失	40		34	6	
税引前当期純利益 (△は税引前当期純損失)	△342	-18.8%	△60	△282	-14.9%
法人税等	19		10	9	
少数株主利益 (控除)	0		5	△5	
当期純利益 (△は当期純損失)	△362	-19.9%	△76	△286	-15.1%

増減ポイント

・売上高および営業損益については決算ハイライトの通り

・特別損失：
資産除去債務会計基準適用によるもの

2011年3月期第1四半期 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2010/6末			2010/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
資産合計	5,344	100.0%	△414	5,758	100.0%
流動資産	4,337	81.2%	△454	4,791	83.2%
現金・預金	2,553		43	2,510	
受取手形及び売掛金	1,210		△558	1,768	
棚卸資産	446		106	340	
その他	130		△46	176	
貸倒引当金	△2		1	△3	
固定資産	1,006	18.8%	39	967	16.8%
有形固定資産	189		15	174	
無形固定資産	500		24	476	
のれん	85		△12	97	
その他	415		37	378	
投資等	316		0	316	

増減ポイント

- ・現金及び預金：
売掛債権の入金による増加
- ・受取手形及び売掛金
前期末検収の入金による減少
- ・棚卸資産
システム開発事業、ZeeM事業
の仕掛増加
- ・無形固定資産
ZeeM事業、コンシューマ事業の開発
費用による増加

2011年3月期第1四半期 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2010/6末			2010/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
負債合計	1,465	27.4%	△52	1,517	26.3%
流動負債	1,208		△113	1,321	
買掛金	193		△45	238	
短期借入金および社債	27		2	25	
その他	986		△72	1,058	
固定負債	256		60	196	
長期借入金および社債	-		0	-	
その他	256		60	196	
純資産合計	3,879	65.2%	△362	4,241	73.7%
資本金	3,149		0	3,149	
資本剰余金	1,428		0	1,428	
利益剰余金	△580		△362	△218	
自己株式	△122		0	△122	
株式等評価差額金	0		0	0	
少数株主持分	4		1	3	
負債純資産合計	5,344	100%	△414	5,758	100%

増減ポイント

流動負債

・買掛金:

買掛債務の支払による減少

・その他

夏季賞与支払による減少

固定負債

・その他:

資産除去債務計上による増加

2011年3月期第1四半期 キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

区 分	2010/6末		2009/6末
	金額	増減	金額
営業活動C F	122	206	△84
税金等調整前四半期純利益	△342	△60	△282
減価償却費	50	7	43
売上債権の増減額（増加：△）	558	△162	720
たな卸資産の増減額（増加：△）	△105	135	△240
仕入債務の増減額（減少：△）	△45	53	△98
その他	6	233	△227
投資活動C F	219	262	△43
有形固定資産の取得	-	0	△0
無形固定資産の取得	△80	16	△96
定期預金の預入/払戻	299	329	△30
その他	0	△83	83
財務活動C F	2	△10	12
短期借入れによる収入	20	5	15
短期借入れの返済による支出	△15	△15	0
その他	△3	0	△3
現金及び現金同等物の期末残高	2,323	△49	2,372
3ヶ月超の定期預金残高	230	30	200
現金及び預金	2,553	△19	2,572

増減ポイント

営業活動キャッシュフロー：

- ・前期末売掛金減により売上債権の回収額が減少
- ・当期の受注不足によるたな卸資産の減少

投資活動キャッシュフロー：

- ・3ヶ月超の定期預金払戻しによる支出の増加

2011年3月期の計画



(百万円)	2010/3期 第2四半期 累計	2011/3期 第2四半期累計 計画値	2010/3期 通期	2011/3期 通期	
				計画値	前期比
売上	4,594	4,650	9,518	10,350	8.7%
営業利益	△43	△40	62	40	△36.3%
経常利益	△32	△40	82	40	△51.4%
当期純利益	△1	△50	86	15	△82.7%

■第2四半期累計及び通期見通し

- ・第1四半期はほぼ予定どおりに推移。4/28/10予想を継続。
- ・引き続き、公表値の着実な達成を目指す。



事業の概況

セグメント毎の概況

ZeeM 事業

- 第1四半期は、前年度中の成約が遅れた案件の取り組みを中心に、着実に受注実績を積み上げた。
- 継続利用意向調査でNO.1を獲得(人事給与65.1%、会計73.9%)、キャンペーンを展開中。
- 今後は、①人事給与面では、労基法改正に伴う就業管理への関心の高まり、②会計では、引き続きIFRS対応への関心が高い、といった市場動向を踏まえた展開と、クラウドコンピューティングへの対応についても、当社の特長を活かした形での対応を進めている。

システム 開発事業

- 既存市場は、引き続き厳しい受注状況が続いている。
- クラウドコンピューティング時代に向けたデータセンター向けインフラ構築・運用管理支援ツールなどに注力、この分野における安定的なパートナー構築を推進中。また、前年度から新重点分野とした映像・デジタルサイネージ分野は、僅かずつ受注増加傾向があり、新たな柱とすべく、実績とパートナー作りを推進中。

コンシューマ 事業

- 第1四半期は、筆まめVer.20夏版の発売があったが、年末に比較すると市場規模は小さい。
- 年末に向けた、筆まめVer.21をはじめとする製品の準備(開発・販促含む)は計画通りに進行中。
- 今年末の予想として、店頭売りのパッケージ市場の縮小傾向は続いており、シェアアップが最大の課題。
- 「筆まめonline」などネット系のサービスの強化・展開を引き続き積極的に進める。

セグメント毎の概況

モバイル 事業

- 引き続き、受注環境は厳しい。
- 法人のマーケティング分野でのモバイル活用は、不況の影響で低迷しており、当社のソリューション(クロスモビ、Flash技術活用のモバイルサイト構築受託)も低迷が続いている。
- 活況なのはソーシャルネット系サービスで、こうした分野での取り組み強化中。(モバイルゲームメーカーとの協業など)
- また、スマートフォンの活用が多くの分野で急速に広がると予想されることから、システム開発需要の増大をにらみ、経験・ノウハウの蓄積に注力する。

サポート & サービス 事業

- 顧客の内製化による受注減は続いており、引き続き受注環境は厳しい。(下げ幅は縮小傾向)
- 一部顧客では、スキルの問題で内製化から再度アウトソーシングに回帰する動きもある。再度プロフェッショナルサービスを強調して、この傾向を増大させたい。
- 前年から運用管理へ対応業務範囲を拡大し、実績が出始めた。今後も、重点的に取り組んでいく。

【ご参考】 ～プレスリリース一覧～ (2010/4-2010/7)

- 2010/4/1 クレオ、会計システムソリューション『ZeeM 会計』の最新版(BBS監修)を発表
(日経産業新聞記事掲載)
- 2010/4/8 クレオ、CTCにシステムソリューション『ZeeM サービスデスク』を導入
- 2010/5/25 クレオ、人事給与システム、会計システムの継続利用意向で第1位を獲得
- 2010/6/11 WEBブラウザ上で簡単にコンテンツを作成・編集できるエディタ、「ActiveSquare7」と
「CrossEditor」両製品の販売を開始
- 2010/6/15 クレオ、人事給与システムソリューション『ZeeM 人事給与』の最新版を発表
(日経産業新聞記事掲載)
- 2010/6/22 資格の学校TAC、6500名を支える人事給与業務基盤として、クレオの
『ZeeM 人事給与』を導入
- 2010/6/23 「マルチデバイス時代のサイト設計・運用手法セミナー」開催のお知らせ
- 2010/7/5 東映グループ、14社2000名を支える人事給与業務基盤として、クレオの
『ZeeM 人事給与』を採用 (日経産業新聞記事掲載)
- 2010/7/13 『筆まめonlineグッズプリント フォトでタンブラー』サービス開始！
- 2010/7/14 デジタルサイネージ対応スケジュール編集アプリケーション「MediaCollector」を発売

— ご清聴ありがとうございました —



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IR室 : TEL03-3445-3539

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。